

【CL名】佐野一郎さん 【解答者】はくにゃん 【作成日】2024年1月13日 【作成時間】60分

設問

[問い1] 今ならどのような質問ができるか。

- 1) 先が見えているからそこまで頑張るモチベーションが保てない、というのはどういうことでしょうか。
- 2) 仕事自体嫌いじゃない、と仰っていましたが、それはどのようなことなのでしょう。
- 3) 3年前に出来た役職定年の制度自体については、どのように感じられますか。
- 4) 部長だった先輩が辞めてから転職活動をすることを止めた、というのは、どうしてなのでしょう。
- 5) 現在課長職でいらっしゃるとのことですが、部長職についてはどのように思われますか。
- 6) 先ほど結果を残してきたと仰ってましたが、別の人が部長なったことについてはどう思われますか。

[問い2] 良かった点と悪かった点 (各2行)

事例ⅠのCCt8 (相応しい・相応しくない)

理由:冒頭で残るか転職しようか迷っている、というお気持ちから、頑張って結果や成績を残しているのに期待していた部長への昇進ができなかった経験をお話しいただき信頼関係の構築ができつつある点。

事例ⅡのCCt9 (相応しい・相応しくない)

理由:成績も良いほうで結果も残し、お客さんの為に尽くしているという相談者の自負と、社内外での評価、更に昇進との関連性に関して、相談者の思いに焦点が当てられず気持ちをお話し頂けなかった点。

[問い3] クライエントの主訴

3年前にできた役職定年制度を受けて、早めに部長職まで上がろうと頑張ってきたのに、他の人が部長職になったことで、現在の仕事に先が見えたように感じ、目標を失い頑張るモチベーションを保てなくなり、昇進することが仕事の目的になり、部長職への役割理解不足がある。また、先輩部長の後釜として部長になれるのではないかと根拠の不確かな情報に期待し、結果昇進できなかったことに漠然と不安を感じており、会社から期待されている職責とそれに対する人事評価を理解できてない。

[問い4] 今後の展開 (どのように進めるか)

これまで営業職としてお客様の要望に応え頑張ってきた相談者を労い、更なる信頼関係の構築に努める。そのうえで、3年前の制度導入から部長職へ昇進することを頑張ってきたご自身を振り返っていただき、相談者にとっての部長職について問いかけ、部長職を含めた管理職の役割について認識を深めていただく。また、今回の部長になれなかったことに対して、会社や人事と認識合わせの場を提案し、昇進に関する目標設定と評価について改めて確認いただく。そのうえで、漠然とした会社に残る不安感を明らかにし、役職定年制度を控えた相談者が、前向きに働き方を意思決定できるようご支援していく。